

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	東京五輪を契機とした文化振興推進事業		
所管課	経済観光文化局文化振興部文化振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		2020年東京五輪に向けて、全国で様々な主体による日本文化の魅力を発信する事業を「文化プログラム」として推進していくこととしている。福岡市においても、国の動きを踏まえながら、東京五輪とその翌年の世界水泳にむけて、福岡独自の歴史・文化の魅力を福岡市文化プログラムとして、一体的に広く展開、発信していくことで、文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と世界に向けた福岡市のプレゼンスの向上を目指す。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	1-4-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり		
事業群	文化芸術の振興		
施策成果指標	文化芸術を鑑賞する市民の割合 (H34年度目標値:75%)		
	入込観光客数 (H34年度 2,000万人)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民、国内・国外からの観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現。 ・文化芸術を通して福岡の魅力を世界に発信することで、福岡市のプレゼンスの向上及び、市内への誘客を促進。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・国が推進する「beyond2020 プログラム」の認証組織として、市事業をはじめ民間、市民団体など多様な主体による文化事業の認証を開始した。 ・認証された事業を「福岡市文化プログラム」として専用のサイトを通して、情報発信を行った。 ・福岡市文化プログラム リーディング事業として、博多旧市街ライトアップウォークと連携し、博多部(博多旧市街エリア)の寺院・公園などを会場に、現代アートを展示し、歴史性と新規性が融合した、大人も子ども楽しめる新たな魅力を創出する「博多旧市街まるごとミュージアム」を実施した。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計	12,099		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	12,099	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳出合計	10,295	18,154	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	10,295	18,154

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市文化プログラムの取組の方向性を提示し、福岡の歴史文化の魅力発信する事業を実施 ・福岡市がbeyond2020プログラムの認証組織となる。 ・福岡市文化プログラムについて一体的に情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、民間団体、行政など多様な主体が行う市内の様々な文化事業をbeyond2020として認証することで、市内全体で多様な文化事業が一体的に展開されるとともに、国や市の情報サイトを通して、国内外に発信される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の文化事業に、市民が触れる機会が増加し、「文化芸術を鑑賞する市民の割合」が高まる。 ・福岡独自の文化芸術事業が都市の魅力・ブランドとして定着し始め、文化芸術事業を目的とした「入込観光客数」が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市の文化芸術の振興がはかられ、豊かで潤いのある市民生活が実現される。 ・観光集客における福岡市の優位性が高められ、更なる集客に寄与する。 							
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
福岡市文化プログラム参加イベント数	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	文化芸術を鑑賞する市民の割合	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	目標	0	500	500件	H32年度		67.7%	69.1%	70.5%	H33年度	
	実績	2	450		1,000件		実績	63.3%		62.0%	73.5%
	達成率	-	90.0%		H 年度		達成率	93.5%		89.7%	
入込観光客数	目標				H 年度	入込観光客数	目標	-	-	-	H33年度
	実績						実績	2,134万人	未公表	-	-
	達成率						達成率	-	-	-	-

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	美術館リニューアル事業	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局美術館運営部リニューアル事業課 (現所管課)経済観光文化局美術館運営部事業管理課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成19年度	背景
根拠法令		
行政計画		
老朽化している施設・設備を改修し、ユニバーサルデザインへ対応するとともに、時代や市民ニーズに応える文化芸術振興拠点及び集客交流拠点として魅力向上を図る。		

基本計画				
施策コード	主	1-4-2		施策成果指標
	再	5-1-2		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり			
事業群	文化芸術の環境整備			文化芸術を鑑賞する市民の割合 (H34年度目標値:75%)
				文化芸術活動を行う市民の割合 (H34年度目標値:25%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市美術館を訪れる人(市民, 国内・海外観光客)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	集客交流拠点としての魅力が向上し、多くの人々が福岡市美術館を訪れる状態

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・施設改修工事の完了(H30.9), リニューアルオープン(H31.3)。
	・リニューアルオープン記念展の開催
	・SNSを通じた情報発信, HPの更新や収蔵品情報システムの開発。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計	574,504		
歳入	特定財源	489	
	一般財源	574,015	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳入	歳出合計	168,602	815,661
	特定財源	112	0
	一般財源	168,490	815,661

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	老朽化している施設・設備を改善するとともに、展示室等の拡張、大濠公園側アプローチやカフェの新設、ユニバーサルデザインへの対応などを行う。 民間活力やノウハウを活用するため、改修及びリニューアル後の維持管理・運営をPFI方式により実施する。	平成31年3月開館 展示室等の機能や美術品の保存環境の向上、教育普及活動の充実が図られるとともに、アプローチやカフェの新設、展覧会等における効果的な広報が行われることにより施設としての魅力が向上する。	展覧会の観覧者をはじめ、市民の憩いの場や、歴史・文化・観光の発信拠点として、多様な目的での来館者が増加する。	文化芸術に親しむ市民が増え、市民の文化環境への満足度が向上する。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標				H32年度
実績					70万人	
達成率					H 年度	
成果の指標(KPI)	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	
	目標	—	—	55万人	H32年度	
	実績	—	13,689	—	70万人	
	達成率	—	—	—	H 年度	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	日本で唯一の歴史資源活性化事業		
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		日本で唯一二重の史跡指定を受けている鴻臚館跡・福岡城跡や国宝金印発見の地である志賀島、元寇防塁等の貴重な歴史・文化資源があり、観光振興を図るにあたり活用可能性が高いため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	5-1-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		
			入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人)
			外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市内外
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	日本に一つしかない歴史資源である鴻臚館・福岡城の二重史跡、元寇防塁、金印については、ほかに変わるものがない。観光振興におけるキラーコンテンツであり、それらの貴重な歴史・文化資源を観光資源として磨き上げ、国内外からの集客力向上を図る取り組みとして、同事業を実施。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ●鴻臚館・福岡城 <ul style="list-style-type: none"> -文化財部門と連携したユニークベニューとしての活用や、エリア内の観光施設・ビューロー・民間事業者等と連携したソフト施策(着物体験・圧切長谷部模造刀記念撮影・武将隊・乗馬・居合演武)を展開 ●早良南部 <ul style="list-style-type: none"> -グリーンツーリズムの推進のため、地域の食・文化・自然を満喫できるモデルコースを考案し、メディアや旅行代理店担当者を含むモニターツアーを実施 -外国人観光客に対する受入環境整備(店舗メニューの多言語表記、外国人歓迎のぼりの設置の支援) -エリアの魅力を発信するガイドマップの作成 -地元事業者や旅行者と連携して観光商品を開発 ●志賀島 <ul style="list-style-type: none"> -志賀島周辺エリアにおけるサイクルツーリズム推進を目的とした、サイクリストが安全に走行するための環境づくり -市営渡船を利用する外国人への割引クーポンの配付 -外国人観光客に対する受入環境整備 -志賀島活性化構想2015に基づき、志賀島振興協議会の観光分野の取組み等と連携した支援 ●元寇防塁 <ul style="list-style-type: none"> -元寇防塁などの歴史・文化資源や景色・景観、食などを組み合わせた回遊プログラムの開発など、西区西部エリア全体としての回遊促進に向けた検討

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		28,895
歳入	特定財源	887
	一般財源	28,008
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳出合計	28,428	27,142
歳入	特定財源	776 930
	一般財源	27,652 26,212

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウト (どんな活動を行うのか)	②結果アウト (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウト (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウト (その結果、市としてどうなるのか)																					
	<ul style="list-style-type: none"> ■鴻臚館・福岡城 <ul style="list-style-type: none"> -エリア内の観光施設・ビューロー・民間事業者等と連携したソフト施策やユニークベニューとしての活用の更なる充実 -文化財部門や公園部門と連携した民間大規模イベントの誘致 ■早良南部 <ul style="list-style-type: none"> -地域事業者や地域住民と連携してグリーンツーリズムの振興に努める。エリア内の回遊性を向上させるために、多言語表記に対応した観光案内板を整備するほか、各種広報媒体やガイドマップを活用して観光PRを実施 ■志賀島 <ul style="list-style-type: none"> -志賀島周辺エリアにおけるサイクルツーリズム振興に向けて、サイクリストが安全に走行するための環境づくり(道切部の清掃)と市営渡船志賀島待合所の観光案内板の改修に取り組む ■元寇防塁 <ul style="list-style-type: none"> -元寇防塁などの歴史・文化資源や景観・食・アクティビティなどを組み合わせた回遊プログラムの開発や、西区西部エリア全体の回遊促進を目的とした二次交通手段の検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市観光だけではなく、歴史や伝統文化、自然環境を目的とした観光振興に繋がる。 ・市内の様々なエリアに観光客がいきわたることとなり、そのエリアでの滞在時間の延長がなされれば、宿泊や飲食、物販などにより、各エリアにおける経済の活性化に繋がる。 ・各エリアへの来訪者が増加し、満足度の向上に繋がり、来訪者によるソーシャルメディアでの情報発信により更なるエリアへの誘客に繋がる。 ・志賀島エリアにおいて、サイクリストの安全確保に繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡城むかし探訪館及び福岡城・鴻臚館案内処三の丸スクエア来館者数の増加。 ・早良区南部、志賀島、元寇防塁を訪れる観光客の増加。 	入込観光客数の増加																					
	指標の内容	実績	目標	実績	目標																				
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">600</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">490</td> <td style="text-align: center;">945</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">122.5%</td> <td style="text-align: center;">157.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	目標	400	600		H年度	実績	490	945	1,000	-	達成率	122.5%	157.5%					
年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																					
目標	400	600		H年度																					
実績	490	945	1,000	-																					
達成率	122.5%	157.5%																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	目標				H年度	実績				-	達成率								
年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																					
目標				H年度																					
実績				-																					
達成率																									

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	歴史文化を活かした観光振興事業		
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		福岡市の歴史資源に加え、都心部と豊かな自然がある海・山とが近いというコンパクトシティの特長を生かし、エリア観光振興を図るもので、29年度から開始した事業である。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	5-1-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		
施策成果指標	入込観光客数 (H34年度目標値:2,000万人)		外国人入国者数 (H34年度目標値:250万人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市内外
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡市におけるインバウンドやMICE関連客については、ショッピング、飲食などの都市型観光がメインであり、都心部の商業地域に集中しているが、観光振興の恩恵を市内の隅々まで行き渡らせるため、都心部以外のエリアで観光地づくりを進める必要がある。 そのため、福岡市内の歴史資源や文化財、文化施設、商店街、自然など、地域における観光資源の魅力を引き上げ、また、周遊コースの形成を図るなどの取り組みを行うことで、観光エリアとしての魅力向上と集客促進を行い、地域経済の活性化を図っていく。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	当該事業については、博多旧市街プロジェクト及び日本で唯一の歴史資源活性化事業と連携して実施(博多旧市街プロジェクト及び日本で唯一の歴史資源活性化事業については、各事業シートに掲載。活動及び成果の指標についても、博多旧市街プロジェクト及び日本で唯一の歴史資源活性化事業に掲載)。 平成30年度においては、博多旧市街エリアの更なる観光推進のため、同エリア内におけるメイン通りである承天寺通り、御供所通り及び櫛田神社参道のインバウンドの動向調査を行い、インバウンド受入環境についての課題を把握するとともに、課題解決のためのツールを検討。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳入	歳出合計	2,314	
	特定財源	0	
歳入	一般財源	2,314	
	前年度決算額・翌年度予算額		
歳入	年度	H29	H31
	歳出合計	13,971	1,425
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	13,971	1,425

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度インバウンド動向調査の結果を、博多旧市街エリアで活動する関係団体、民間事業者にフィードバックする。 ラグビーワールドカップを見据え、博多旧市街エリアにおける観光プログラムの造成支援やプロモーション、多言語マップの作成など、観光客受け入れ環境の整備を進める。 博多旧市街エリアにおける取組みをモデルとし、寺社・仏閣や市の文化施設等の周辺エリアの観光推進を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 博多＝観光地としてのイメージの定着に繋がる。 博多旧市街を訪れるラグビーファンのソーシャルメディアによる情報発信により、博多旧市街の認知度向上に繋がる。 都市観光だけではなく、歴史や伝統文化、自然環境を目的とした観光振興に繋がる。 市内の様々なエリアに観光客がいきわたることとなり、そのエリアでの滞在時間の延長がなされれば、宿泊や飲食、物販などにより、各エリアにおける経済の活性化に繋がる。 各エリアへの来訪者が増加し、満足度の向上に繋がり、来訪者によるソーシャルメディアでの情報発信により更なるエリアへの誘客に繋がる。 				<p>福岡市中心部だけではなく、市内全域に観光客が増加し、満足度が向上する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 入込観光客数の増加 市内全域に観光客が増加することで、地域経済が活性化する。 			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
			年度	H29年度	H30年度	H31年度			最終年度	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	400	600	1,000	H年度		入込観光客数	-	-	-	H年度		
実績		490	945	-		実績		21,340,000	未公表	-	-			
達成率	122.5%	157.5%	1	H31年度	達成率	-	-	-	-					
目標	29	7	1	H年度	目標				H年度					
実績	29	9		1	実績									
達成率	100.0%	128.6%			達成率									

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	博多旧市街プロジェクト	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
天神ビッグバン、ウォーターフロントNextと歴史が息づく博多部の対比を考えながら街づくりを推進してきた一方で、博多部の歴史・伝統・文化の魅力が十分に認知されておらず、改めて、自分たちが住んでいる地域に興味を持ち、誇りに思う気持ちを育てながら、観光資源として磨き、市民や観光客にしっかりと伝える必要があるため。		

基本計画			
施策コード	主	5-1-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		
施策成果指標	入込観光客数 (H34年度目標値:2,000万人)		
	外国人入国者数 (H34年度目標値:250万人)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市内外
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	天神ビッグバンと対をなすプロジェクトとして、中世最大の国際貿易都市であった博多部において、価値ある資源をストーリーとストリートでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高める。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<p>ストーリーをつなぐ取組みとして、モデルコースの新規造成や体験プログラムの開発支援、「よかなび」内に「博多旧市街」特設ページを開設する等、多言語による情報発信などを実施した。</p> <p>また、有識者のご意見をいただきながら、新たな観光施策について検討するとともに、博多区やエリアマネジメント団体によるプロジェクト推進連絡会議を設置し、官民連携の取組みとして関連イベントとの連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多旧市街まち歩きモデルコースの造成 H29n:2コース → H30n:5コース ・観光情報サイト「よかなび」内に「博多旧市街」特設ページを開設 ・体験型コンテンツの開発、販売支援 ・ロゴを活用した博多旧市街のPR ・関連イベントとの連携 ・博多旧市街エリアの観光振興施策検討 ・チャンネルシティ連絡通路に博多旧市街バナーの設置 ・観光案内板等の統一デザイン化 H29n:29基 → H30n:9基 ・出来町公園観光バス駐車場整備 ・官民連携のプロジェクト推進連絡会議の設置 ・オーブントップバス「博多旧市街コース」の造成

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	13,455
歳入	特定財源	0
	一般財源	13,455
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	23,522 3,867
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	23,522 3,867

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																								
	H31年度は、ラグビーワールドカップを見据え、多言語での情報発信や体験プログラムの開発支援、関連イベントの開催など、博多旧市街エリア全体の観光振興の取組みを実施することで、博多旧市街エリアの観光資源の魅力をしっかり発信するとともに、引き続き地域住民等の意見を丁寧に伺いながら個別具体的な事業の推進に取り組んでいく。 【ストーリーづくり】 ・体験コンテンツの開発、販売支援 ・ロゴを活用した博多旧市街のPR、関連イベントの開催 ・ラグビーワールドカップ関連イベントとの連携 ・博多旧市街動画・フォトブック作成 ・博多旧市街マップのフランス語化 ・冷泉小学校跡地活用の検討 【まちなみづくり】 ・地区案内板の増設 ・旧市街の主な通りを歴史・文化に配慮した趣のある道路に整備。 ・旧市街へ誘う承天寺通りにおけるまちなみルールづくりを推進。	・博多旧市街の魅力をも、来訪者の理解を深め満足度を高めるストーリーでPRすることができる。 ・装飾等により博多旧市街の可視化に繋がる。 ・博多＝観光地としてのイメージの定着に繋がる。 ・周辺情報を掲示した地区案内板や、観光説明板、誘導板などの改修により来訪者回遊性が高まる。 ・官民連携により、市民・来訪者にとってより訴求力のある取組みの実施に繋がる。 ・博多旧市街を訪れるラグビーファンのソーシャルメディアによる情報発信により、博多旧市街の認知度向上に繋がる。	「博多町家」ふるさと館及びはかた伝統工芸館の来館者数の増加	入込観光客数の増加																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">H29年度</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">H31年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">観光案内板(地区案内板、誘導板を含む)の改修及び新設数</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">H31年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">128.6%</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	観光案内板(地区案内板、誘導板を含む)の改修及び新設数	目標	29	7	H31年度	実績	29	9	1	達成率	100.0%	128.6%	1		目標			H年度		実績					達成率				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">H29年度</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">H31年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">「博多町家」ふるさと館来館者数</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> <td style="text-align: center;">180,000</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">104,141</td> <td style="text-align: center;">110,766</td> <td style="text-align: center;">180,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">65.1%</td> <td style="text-align: center;">61.5%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">はかた伝統工芸館来館者数</td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">123,000</td> <td style="text-align: center;">130,000</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">123,960</td> <td style="text-align: center;">135,494</td> <td style="text-align: center;">130,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">100.8%</td> <td style="text-align: center;">104.2%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	160,000	180,000	H年度	実績	104,141	110,766	180,000	達成率	65.1%	61.5%	-	はかた伝統工芸館来館者数	目標	123,000	130,000	H年度	実績	123,960	135,494	130,000	達成率	100.8%	104.2%	-		
指標の内容	実績		目標																																																																									
	年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																								
観光案内板(地区案内板、誘導板を含む)の改修及び新設数	目標	29	7	H31年度																																																																								
	実績	29	9	1																																																																								
	達成率	100.0%	128.6%	1																																																																								
	目標			H年度																																																																								
	実績																																																																											
	達成率																																																																											
指標の内容	実績		目標																																																																									
	年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																								
「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	160,000	180,000	H年度																																																																								
	実績	104,141	110,766	180,000																																																																								
	達成率	65.1%	61.5%	-																																																																								
はかた伝統工芸館来館者数	目標	123,000	130,000	H年度																																																																								
	実績	123,960	135,494	130,000																																																																								
	達成率	100.8%	104.2%	-																																																																								

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	福岡城跡復元整備事業		
所管課	経済観光文化局文化財活用部 史跡整備活用課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		本市を特徴づける歴史的文化資源を磨き上げ本市の観光・集客の核とするため
根拠法令	文化財保護法		
行政計画	なし		

基本計画					
施策コード	主	5-1-1			施策成果指標
	再	5-1-2	8-1-2		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ				
事業群	福岡の歴史資源の観光活用				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国史跡福岡城跡
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡城跡を魅力ある歴史資源として磨き上げ、観光・集客の拠点とするとともに、歴史的価値を後世に確実に継承する。 また、使える身近な史跡として積極的な公開・活用を図る

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	歴史資源として磨き上げるため、「国史跡福岡城跡整備基本計画」に基づき整備を行った。具体的には、潮見櫓復元(基本設計及び発掘調査)、祈念櫓石垣修理(事前調査)を実施した。 積極的な公開・活用にむけ、こどもおよび外国人旅行者を対象として、福岡城こども石垣案内、鴻臚館・福岡城多言語パンフを作成し、7月より城内施設で配布した。他に、こども対象としたワークショップ(刻印さがし、勾玉づくり)、美術館科学館コラボイベント(発掘調査現場案内)を実施した。 使える身近な史跡とするため、福岡城南丸多聞櫓の民間活用によるユニークメニュー「てのひら盆栽づくりat多聞櫓」を実施した。盆栽の展示、盆栽づくりのワークショップ、南丸多聞櫓内部公開を行った。

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計	37,675	
歳入		
特定財源	18,379	
一般財源	19,296	
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	71,456	135,617
歳入		
特定財源	58,365	116,033
一般財源	13,091	19,584

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	平成26年度策定の国史跡福岡城跡整備基本計画にそった整備・活用事業を推進する。 市民・観光客がわかりやすく楽しめる環境を整え、広く福岡城の魅力伝えていく。	広く周知されるとともに、整備事業に対する理解・共感を得る。 また、多くの市民・観光客が訪れ、活発な公開活用が行われる。	公開活用事業の推進とともに来訪者が増加し、史跡としての福岡城跡の認知度も向上する。 また、福岡城整備基金の寄付額が増加する。	福岡城が都心部における観光・集客の拠点となる。 また、市民の誇りとしてアイデンティティー形成の核となり、郷土の歴史を知る場となる。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	112,000	118,000	124,000	H32年度
実績		90,474	126,657	130,000	H32年度	
達成率		80.8%	107.3%	130,000	H32年度	
目標				H年度	H年度	
実績				H年度	H年度	
達成率				H年度	H年度	

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
	福岡城整備基金の寄付額	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	25,000	25,000	25,000	H40年度
		実績	10,519	26,300	25,000	25,000
		達成率	42.1%	105.2%	25,000	25,000
目標				H年度	H年度	
実績				H年度	H年度	
達成率				H年度	H年度	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	まち歩き観光振興事業(観光案内ボランティアの充実強化)		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市民や来訪者に対し、本市を正しく理解、認識してもらうため、福岡市が募集・研修養成を実施。平成7年のユニバーシアード福岡大会開催に向けての市民ホスピタリティの向上を見据えて設立した。
開始年度	平成3年度		
根拠法令	なし		
行政計画			

基本計画			
施策コード	主	5-3-1	施策成果指標
	再		観光案内ボランティアの案内人数目標 (H34年度目標値:15,000人)
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり		
事業群	おもてなしの向上		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市民・福岡市を訪れる観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡市を訪れる多くの訪問客に、ガイドの巧みな話術とおもてなしで、快適にまちをめぐり、魅力に触れて満足していただくことで、福岡市のファンを増やす。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・観光客等の派遣依頼にともなう観光案内活動 ・市役所ロビーに1名、「博多町家」ふるさと館に1名が毎日(12/28~1/3を除く)常駐し、無料の定時ツアーや周辺の観光案内を実施。 ・企画募集型のまち歩きツアーを定期的実施。新コースを10コース開発。 ・鴻臚館・福岡城/バーチャル時空散歩の実施。 ・博多情緒めぐり期間中のまち歩きの実施。 ・本市で開催される大会、祭り、イベント等の参加者に対する案内。 ・大学や専門学校等と連携し、観光案内の実証実験や外国人向け観光案内などを実施。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	5,094
歳入	特定財源	0
	一般財源	5,094
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	5,993 5,729
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	5,993 5,729

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	派遣依頼に伴う観光案内活動 まち歩きイベントの開催 広報展開(ポスター・県外へのチラシ配布・ホームページ) 新コースの開発	観光案内ボランティアの案内人数(利用人数)ならびに案内件数が増える	福岡を訪れる観光客の満足度が上がる	入込観光客数の増加	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
	観光案内ボランティアの案内人数	11,700	12,300	13,000	H34年度
	目標	9,773	8,862	15,000	H年度
	実績	83.5%	72.0%		
	達成率				
	目標				
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	MICE誘致推進事業(消, 投, 重点)MICEワンストップ体制の運営(重点)	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部MICE推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるとともに経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に進行を図ることとして開始。
開始年度	平成13年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-4-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成		
事業群	MICE誘致の推進		
施策成果指標	国際コンベンション開催件数 (H34年目標値:250件)		
	国内コンベンション誘致件数 (H34年度目標値:160件)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	MICEの主催者・参加者
	対象をどのような状態にしたいのか	MICE主催者が福岡市の魅力を知り、福岡を開催地として選択する状態。 また、福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力に触れ、個人旅行で再来福したり、広く福岡の魅力を発信する状態。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の国際会議等での展示会・見本市への出席。 ・国際会議協会(ICCA)のデータベースを活用した戦略的なマーケティング活動。 ・市と(公財)福岡観光コンベンションビューロー、(一財)福岡コンベンションセンターの三者で共働の誘致活動を実施。 ・実務者レベルの会議体を設け、誘致ターゲットのリスト化や月次レベルの誘致状況等について情報共有を実施。 ・MICE主催者への各種支援(コンベンション開催助成、歓迎バナーの掲出、コンベンションサポートなど)。
-----------------	--	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		60,826
歳入	特定財源	17,393
	一般財源	43,433
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	81,603	61,037
歳入	特定財源	24,260
	一般財源	57,343

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致のためのリサーチ, マーケティング ・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致対象の発掘 ・MICE開催地としての福岡の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催地として福岡市を選択する主催者の増加 ・福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市のMICE都市としての認知度向上 ・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇 ・MICE主催者・参加者への再来福による経済波及効果上昇 	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
	目標			310	H31年度
	実績			296	310
	達成率			102.1%	-
	目標			150	H31年度
	実績			158	154
	達成率			105.3%	-

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	MICE・観光による地域経済活性化事業	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 観光産業の振興を図るために、IoT等を活用した受入環境の向上や観光・MICE都市としての宿泊供給力の強化に取り組み、外国人観光客やMICE参加者等の満足度向上並びに消費機会、消費単価の拡大を促進するため平成29年度に事業開始。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画		

基本計画				
施策コード	主	5-4-2		施策成果指標 国際コンベンション開催件数 (平成34年目標値: 250件) 国内コンベンション誘致件数 (平成34年度目標値: 160件)
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成			
事業群	MICE誘致の推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	外国人観光客やMICE参加者
	対象をどのような状態にしたいのか	商店街・地域事業者が実施するおもてなしへの支援や、国や民間企業と連携し、IoT等を活用した観光サービスの生産性向上などに取り組むことで、観光産業の振興を図るとともに、インバウンド対応や宿泊施設等の供給力強化など受入環境の充実を図る。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	・クレジットカードを利用した購買データを活用し、福岡市内における訪日外国人の消費動向について分析を実施。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計		743	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	743	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
	歳出合計	3,554	300
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	3,554	300

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	指紋認証等による「ストレスフリー観光」実現について、民間事業者・地場企業と連携し、実証実験を行うとともに、訪日外国人の消費動向等分析を行い、現状を把握する。	・実証実験の実施により、訪日外国人観光客の回遊性・利便性が向上する。 ・消費動向等分析の実施により、受入環境の充実や消費拡大に向けた課題が抽出される。	訪日外国人旅行者の回遊性・利便性が向上することにより、福岡市域における滞在日数ならびに消費額が増加する。	MICE参加者を含む外国人入国者数の増並びに経済波及効果の上昇。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
	目標				H年度
	実績				-
	達成率				-
	目標				H年度
	実績				-
	達成率				-

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	観光プロモーション事業(消費・重点)	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		背景
第三次産業への従事者が大多数を占める本市において、観光産業は消費による波及効果の裾野が広く、都市の成長にとって観光客の誘致は非常に効果的であるため。		

基本計画				
施策コード	主	5-6-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策事業群	国内外への戦略的なプロモーションの推進 シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進			
				入込観光客数 (H34年度目標値:2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値:250万人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国内外の旅行者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	観光関係協議会における広域連携による取り組みに加え、主として、国内では3大都市圏、海外では直行便の就航するアジアや欧米豪市場などに対し、市場の嗜好性に合わせたプロモーションを実施した。 ○観光関係協議会による活動 ○現地説明会開催や観光展出展等によるPR ○メディア等を活用した情報発信 ○釜山・福岡アジアゲートウェイ(釜山広域市との共同PR)

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		26,580
歳入	特定財源	0
	一般財源	26,580
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	34,890	27,030
歳入	特定財源	0
	一般財源	34,890

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	招請事業や現地メディアを活用した情報発信、現地プロモーションなどにより観光都市福岡のPRを実施。	現地において福岡市の情報に接する機会が増加する。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客が増加する。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	最終年度	年度	最終年度	
活動の指標	情報発信・招請事業の件数	H29年度	H30年度	H31年度	H年度	
		目標	15	15	15	-
		実績	20	23	-	-
		達成率	133.3%	153.3%	-	-
成果の指標(KPI)	入込観光客数	H29年度	H30年度	H31年度	H年度	
		目標	-	-	-	-
		実績	21,340,000	未公表	-	-
		達成率	-	-	-	-
成果の指標(KPI)	外国人入国者数	H29年度	H30年度	H31年度	H年度	
		目標	-	-	-	-
		実績	2,982,601	3,094,243	-	-
		達成率	-	-	-	-

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：国内外観光プロモーション事業＞		
所管課	（旧所管課）経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課 （現所管課）経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 来福観光客数を増加させるためには、本市の魅力を発信し認知度の向上を図ることが必要であるため。
開始年度	平成26年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画					
施策コード	主	5-6-1		施策成果指標	入込観光客数 (H34年度目標値:2,000万人)
	再				外国人入国者数 (H34年度目標値:250万人)
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 国内外の旅行者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 実行委員会及び(公財)福岡観光コンベンションビューローへ負担金を拠出し広報物を制作・配布 ・福岡観光ガイドブックの作成 （作成部数：日本語15万冊・英語6万冊・韓国語5万冊・中国語6万冊（繁体字3万・簡体字3万）・ベトナム語0.5万冊・フランス語1万冊） ・福岡博多の観光地図ですの作成(30万冊) ・福岡観光ポスターの印刷、配布
-----------------	---

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計		6,461	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	6,461	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳出合計	6,325	4,841	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	6,325	4,841

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	観光情報について広報物を制作、観光展・観光案内所等において配布。	福岡市の情報に接する機会が増加。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客数が増加する。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	-	-	-	H年度
実績		660,000	635,000	-	-	
達成率		-	-	-	-	
	目標	-	-	-	H年度	
	実績	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	入込観光客数	目標	-	-	-	H年度
		実績	21,340,000	未公表	-	-
		達成率	-	-	-	-
		目標	-	-	-	H年度
外国人入国者数	実績	2,982,601	3,094,243	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
	目標	-	-	-	H年度	
	実績	-	-	-	-	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	外国クルーズ客船受入事業		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。
開始年度	平成20年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	5-6-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策事業群	国内外への戦略的なプロモーションの推進 クルーズ客拡大への取り組み			
				外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値:250回)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	クルーズ客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①着岸場所(岸壁・博多港国際ターミナル)での対応 ・岸壁での歓迎演出の実施 ・クルーズセンターでの語学ボランティアによる観光案内の実施等 ②受入体制等の充実 ・九州観光推進機構と連携した多言語ガイド研修の実施

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	7,160
歳入	特定財源	0
	一般財源	7,160
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	9,749 7,160
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	9,749 7,160

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	ボランティアの配置等受入態勢の充実を図る。	クルーズ客に対して、十分な観光案内が可能となる。	クルーズ客の満足度が上がり、福岡への再訪意欲が高まる。	クルーズ客が増加する。		
	活動の指標	実績	目標	実績	目標	
		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標				H年度

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標	
	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	
		目標	320	330		H年度
		実績	310	279	280	-
		達成率	96.9%	84.5%		
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：外国クルーズ客船受入事業＞		
所管課	（旧所管課）経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド推進課 （現所管課）経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。
開始年度	平成20年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	5-6-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進			
事業群	クルーズ客拡大への取り組み			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか クルーズ客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 観光情報などの広報媒体等を制作し、クルーズ客へ配布 ・観光マップの増刷及び記念品等の作成:20万枚
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		1,805
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,805
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳入	歳出合計	3,300 3,425
	特定財源	0 0
	一般財源	3,300 3,425

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	クルーズ客にとって分かりやすいパンフレット等を作成する。	クルーズ客がパンフレット等を見て観光しやすくなる。	クルーズ客の満足度が上がり、福岡への再訪意欲が高まる。	クルーズ客が増加する。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	
活動の指標	観光マップ等増刷, 作成部数	目標	-	-	H 年度	
		実績	14万枚	20万枚	-	
		達成率	-	-		
		目標				H 年度
		実績				
		達成率				

成果の指標(KPI)	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	目標	320	330	280	H 年度
		実績	310	279		-
		達成率	96.9%	84.5%		
		目標				H 年度
		実績				
		達成率				

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	クルーズ船誘致事業		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 海外船社によるアジアクルーズ市場開拓が進むについて、中国・韓国と近接する博多港のクルーズ寄港地としての需要が増大。客船寄港による経済効果が大きいことから、博多港の強みを活かした積極的な誘致活動が必要となっていた。
開始年度	平成21年度		
根拠法令	なし		
行政計画			

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	施策成果指標
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取組み		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 船社・旅行代理店等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか クルーズ港としての博多港の認知度・イメージを向上し、北東アジアのクルーズ市場における博多港の地位を確立し、クルーズ客船の寄港増加・定着化につなげる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ●多様なクルーズ客船の誘致 ・海外船社、国内クルーズ関係企業等に訪問し、寄港誘致 ・海外コンベンションに参加し、クルーズ港としての博多港をPR ●博多港発着クルーズの振興 ・市民クルーズ、市民船内見学会、岸壁開放による市民お見送り等を実施 ・海外船社による日本海側定期定点クルーズの受入体制を他港と連携し強化 ・福岡クルーズ会議を開催
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		9,985
歳入	特定財源	480
	一般財源	9,505
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳入	歳出合計	10,947 10,163
	特定財源	468 515
	一般財源	10,479 9,648

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・船社、旅行代理店等訪問による誘致活動 ・海外コンベンション等での博多港PR ・港での受入体制充実 ・市民クルーズ、市民船内見学会等の実施	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・船社、代理店等の寄港地選定権限のあるキーパーソンに、クルーズ港としての博多港が認知される。 ・乗客、乗員の博多港寄港時の満足度が向上する ・博多港へのクルーズ船寄港に対し、市民の認知度や理解度が向上する	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・博多港がクルーズ寄港地に選定される ・博多港のクルーズ港としてのイメージが向上する ・博多港発着クルーズの市場が拡大する	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・クルーズ客船寄港及び乗客・乗組員による市内への経済効果が見込まれる ・クルーズ拠点港として国内外へ博多港をPRすることができる																																																																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">海外クルーズコンベンションへの参加回数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">年1~2回</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	海外クルーズコンベンションへの参加回数	目標	2	2	年1~2回	H 年度	実績	2	2	-	達成率	100.0%	100.0%			目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">320</td> <td style="text-align: center;">330</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">280</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">310</td> <td style="text-align: center;">279</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">96.9%</td> <td style="text-align: center;">84.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	目標	320	330	280	H 年度	実績	310	279	-	達成率	96.9%	84.5%			目標				H 年度		実績						達成率				
	指標の内容	実績		目標																																																																																			
		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																																	
	海外クルーズコンベンションへの参加回数	目標	2	2	年1~2回	H 年度																																																																																	
実績		2	2	-																																																																																			
達成率		100.0%	100.0%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
指標の内容	実績		目標																																																																																				
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																																		
外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	目標	320	330	280	H 年度																																																																																		
	実績	310	279		-																																																																																		
	達成率	96.9%	84.5%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	クルーズ船観光客の受入調整		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
	(現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課		寄港地観光の訪問先が固定化する傾向にあり、訪問先周辺における交通混雑や経済効果が見えづらい要因となっているため、訪問先・時間の分散化やFITの振興等によるツアーの多様化・上質化に取り組む。
開始年度	平成28年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画					
施策コード	主	5-6-2		施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数(※暦年)
	再				
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
事業群	クルーズ客拡大への取り組み				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	クルーズ客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・寄港地観光手配予約システムを活用した訪問先・時間の分散化 ・船社と連携した、中国TV番組による観光地紹介や中国メディアFAMツアーを実施

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	11,533
歳入	特定財源	0
	一般財源	11,533
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	19,325 12,413
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	19,325 12,413

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間の分散化 ・FIT(訪日外国人個人旅行)の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化 	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間が分散化する。 ・多様な寄港地観光ツアーが造成される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客が増加する。 		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標				H 年度
実績						
達成率						
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
成果の指標(KPI)	外国クルーズ客船寄港回数(※暦年)	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	320	330		H 年度
		実績	310	279	280	-
		達成率	96.9%	84.5%		
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	観光バス受入環境の改善		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡空港・博多港からの外国人入国者数が急増等を背景とした観光バスによる訪問先周辺の交通課題の解消を図るため、観光バスの受入環境の改善に取り組む。
開始年度	平成28年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画					
施策コード	主	5-6-2			施策成果指標
	再	5-3-2	8-1-2		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
事業群	クルーズ客拡大への取組み				外航クルーズ客船の寄港回数(※暦年)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 観光バスを利用した観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され、周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに、観光客の満足度が向上する。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・百道浜地区に訪問するクルーズ客用観光バスを対象としたショットガン方式の運用 ・出来町公園における観光バス乗降場の管理運営
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		42,407
歳入	特定財源	7,000
	一般財源	35,407
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳入	歳出合計	59,163 40,969
	特定財源	0 10,000
	一般財源	59,163 30,969

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・交通指導員の配置による駐車場への誘導 ・公有地を活用した乗降場、駐車場の確保	・観光バスの乗車待ちや駐車場・乗降場への入庫待ちによる路上待機がなくなる。	・観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され、周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに、観光客の満足度が向上する。	・観光客が増加する。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
活動の指標	百道浜地区訪問時における待機場利用率	80.7	80.7	86.9	H年度
		80.7	86.9	-	
		100.0%	107.7%		
	達成率				
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地方発イノベーション創出環境の構築事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 地場企業が抱える課題のよろず相談による支援を行う中で、相談事業に対するニーズの高さとともに、課題解決に向けてより多くの研究機関、支援機関、企業のネットワークの必要性を把握したため。		

基本計画				
施策コード	主	6-1-1		施策成果指標 ○情報通信業の従業者数(2022年度:54,000人) ○市内大学の民間企業などとの共同研究件数(2022年度:1,000件)
	再	8-2-2		
分野別目標 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている				
施策事業群		産学官連携による、知識創造型産業の振興 知識創造型産業の振興		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 地場企業や九州圏内を中心とした企業、大学、公的研究機関、金融機関等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 産学官金連携による研究開発等が活発に行われ、イノベーションが次々に起こる状態。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・ふくおか産学共創コンソーシアムによるモノづくり・研究開発に係る技術セミナーや九州大学、理化学研究所、福岡市・ISITの三者連携によるフォーラムを開催するなど、大学等の研究成果を広くPRするとともに、普段なら出会うことのない専門分野及び異分野の情報・人と出会える交流の場づくりを行った。 ・福岡市産学連携交流センター(Fias)や九州大学に設置している電子顕微鏡などの高度な分析機器を相互利用できる優位性を活かし、よろず相談対応を行い、企業等の技術的課題の解決を支援した。
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		23,228
歳入	特定財源	10,474
	一般財源	12,754
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	24,367	23,622
歳入	特定財源	11,718
	一般財源	12,649
		13,148

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・分析ネットワーク等を通じて、企業の潜在的課題を掘り起こし、その解決を支援する。 ・産学官金からなるネットワークを形成し、企業の技術的課題の解決や大学等の研究成果の産業界への橋渡しを行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・企業等の技術力・研究開発力の向上や産学連携が促進される。 ・ネットワーク活動のなかから、共同研究・開発の検討・展開を行う場が生まれる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・産学官金連携による共同研究・開発が活発に行われる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・地場企業の研究開発力の向上やベンチャー企業の創出 ・研究開発等を行う企業・研究機関等の元岡地区への集積																																																																																																																																												
	→	→	→	→																																																																																																																																												
	→	→	→	→																																																																																																																																												
	→	→	→	→																																																																																																																																												
	→	→	→	→																																																																																																																																												
活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	目標					H 年度	実績						達成率						目標					H 年度	実績						達成率						<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>5</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>200.0%</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>70</td> <td></td> <td>80</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>124.3%</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	目標		5		5	H31年度	実績		10			10	達成率		200.0%			-	目標		70		80	H31年度	実績		87			100	達成率		124.3%			-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>5</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>200.0%</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>70</td> <td></td> <td>80</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>124.3%</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	目標		5		5	H31年度	実績		10			10	達成率		200.0%			-	目標		70		80	H31年度	実績		87			100	達成率		124.3%			-
指標の内容	実績			目標																																																																																																																																												
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																																																																																											
目標					H 年度																																																																																																																																											
実績																																																																																																																																																
達成率																																																																																																																																																
目標					H 年度																																																																																																																																											
実績																																																																																																																																																
達成率																																																																																																																																																
指標の内容	実績			目標																																																																																																																																												
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																																																																																											
目標		5		5	H31年度																																																																																																																																											
実績		10			10																																																																																																																																											
達成率		200.0%			-																																																																																																																																											
目標		70		80	H31年度																																																																																																																																											
実績		87			100																																																																																																																																											
達成率		124.3%			-																																																																																																																																											
指標の内容	実績			目標																																																																																																																																												
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																																																																																											
目標		5		5	H31年度																																																																																																																																											
実績		10			10																																																																																																																																											
達成率		200.0%			-																																																																																																																																											
目標		70		80	H31年度																																																																																																																																											
実績		87			100																																																																																																																																											
達成率		124.3%			-																																																																																																																																											

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	IoT新サービス創出支援事業		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		多くのものがインターネットに繋がる時代を迎え、安くて少ない電力で使えるIoT向けの通信規格LPWAが注目を浴びてきた。企業へヒアリングを行った結果、LPWAの通信ネットワークに対するニーズが高いことがわかったため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	6-1-1		施策成果指標
	再	8-2-3		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興			
事業群	知識創造型産業の振興			情報通信業の従業者数 (2022年度目標: 54,000人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内で実証実験を行うことでプロジェクトの成長を目指す市内外のスタートアップや既存企業等。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか スタートアップや既存企業が、福岡市を舞台に実証実験を行う状態。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <ul style="list-style-type: none"> ・IoT向けの通信ネットワーク(Fukuoka City LoRaWAN)の提供 ・利用者募集 利用する方の募集。(随時) ・利用者サポート 利用者のデバイス(端末)やアプリケーション等の選定, 開発に係る支援。 開発者向けセミナーの開催。デバイス貸出。 ・周知広報 委託事業者と協力し, 国内の様々な展示会への出展及び講演を行った。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		3,582
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,582
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29
	歳出合計	5,766
歳入	特定財源	0
	一般財源	5,766

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を募集する。 ・利用者の実証実験が実施されるよう, サポートを行う。 ・利用にあたっての説明会やセミナーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業がネットワークを利用する。 ・利用者の理解が深まる。 	<p>様々な実証実験を行い, これまでの通信との比較検証を行いながら新たなサービス創出へと発展していく。</p>	<p>市内企業の活動の活性化や, 市外企業の福岡市への更なる集積を図り, 福岡発の新しいサービス・製品の創出が期待できる。</p>		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標				H 年度
実績						
達成率						
年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度		
成果の指標(KPI)	目標	10	10	10	H31年度	
	実績	16	38		-	
	達成率	160.0%	380.0%			
	目標				H 年度	
実績						
達成率						

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	水素リーダー都市プロジェクト		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		平成26年12月の燃料電池自動車の市販開始を契機に、国内外において水素エネルギー・燃料電池の市場拡大と関連分野を含めた新たな市場化が見込まれることから、地場企業を中心に水素エネルギーの産業化を進めることとしたため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	6-1-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興		
事業群	知識創造型産業の振興		
施策成果指標	情報通信業の従業者数 (2022年度目標値: 54,000人) 市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (2022年度目標値: 1,000件)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地場企業を中心とした水素関連企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市は水素社会の実現をめざし、再生可能エネルギーである「下水バイオガス」から水素を製造する、世界初の水素ステーション「福岡市グリーン水素ステーション」を平成26年度に建設し、その水素を「グリーン水素」として活用するプロジェクトを産学官連携で実施した。 平成30年度は、「福岡市グリーン水素ステーション」での水素製造に関する耐久性確認及びコスト低減の自主研究など、計4件のプロジェクトに取り組んだ。 ・そのうち、平成30年9月には技術開発した燃料電池トラックが日本で初めて公道を走行したほか、平成31年3月には西日本では初めてとなるセルフ充填を「福岡市グリーン水素ステーション」で新たに開始した。

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		35,503
歳入	特定財源	244
	一般財源	35,259
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	34,194	39,752
歳入	特定財源	81
	一般財源	34,113

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	○「福岡市グリーン水素ステーション」の自主研究及び視察対応を行うとともに、市民に対する普及啓発に取り組む。 ○「グリーン水素」の利活用について、水素関連企業などと協議する。	○福岡市の先進的な取組みが認知されることで、新たな水素利活用プロジェクトが組成される。	産学官による国プロジェクト等の水素を利活用した取組みが市内で行われる。(福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態)	地場企業などの水素関連企業のビジネス拡大や大学との共同研究の増加が期待できる。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	1	1	1	H年度
実績		1	1	1	-	
達成率		100.0%	100.0%			
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	
	水素利活用プロジェクト数	年度	H29年度	H30年度
		目標	3	3
		実績	4	4
		達成率	133.3%	133.3%
	目標		2	
	実績			
	達成率			

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	重点分野の企業誘致推進事業		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成16年度		地域経済を活性化させ、本市の国際競争力を高めるため、本社機能や外資系企業、クリエイティブ産業などの、成長性が高い分野の企業誘致を推進するとともに、クリエイティブ人材の市内企業への就職・移住支援等を開始した。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	6-2-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進		
事業群	企業や本社機能の立地促進		
施策成果指標	○成長分野・本社機能の進出企業数(50社/年 内外国企業等15社) ○進出した企業による雇用者数(3,000人/年 ※国内企業も含めた合計数値)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国内外の企業等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	本市への支社や本社等の拠点設置を推進し、定着させる

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	【外国企業誘致推進事業】
	海外におけるプロモーションや、国内外でのセミナー及び企業訪問等の実施、外国企業・投資誘致センター運営、JETRO等関連団体との連携を通じ、外国企業等への情報発信や連絡・情報提供等を実施。 <平成30度の主な取り組み事例> バンクーバー説明会(H30.8)/台北・上海JETRO対日投資セミナー(H30.11, 12)/ベトナム説明会(H31.3)等
	【U/Iターン促進事業】
	首都圏等で勤務経験のあるIT、コンテンツ等のクリエイティブ関連人材の福岡へのU/Iターンを促進するため、市内企業とのマッチング等の移住・転職支援を実施。 <平成30年度実績> ※H31.3末時点 転職決定: 2名 / 登録企業: 72社 / イベント参加者: 約50名

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	24,065
歳入	特定財源	2,075
	一般財源	21,990
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	15,761 19,962
歳入	特定財源	2 2,695
	一般財源	15,759 17,267

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																													
	・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	・本市へ支社、本社等の拠点を設置する。	・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。																																																																													
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">クリエイティブ企業への企業訪問・面談回数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">362</td> <td style="text-align: center;">457</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">120.7%</td> <td style="text-align: center;">152.3%</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	クリエイティブ企業への企業訪問・面談回数	目標	300	300	300	H34年度	実績	362	457	300	達成率	120.7%	152.3%	300		目標				H 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成長分野・本社機能の進出企業数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">114.0%</td> <td style="text-align: center;">114.0%</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">進出した企業による雇用者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">3,000</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">1,041</td> <td style="text-align: center;">1,334</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">34.7%</td> <td style="text-align: center;">44.5%</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50	50	H34年度	実績	57	57	50	達成率	114.0%	114.0%	50	進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	H34年度	実績	1,041	1,334	3,000	達成率	34.7%	44.5%	3,000	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																												
クリエイティブ企業への企業訪問・面談回数	目標	300	300	300	H34年度																																																																												
	実績	362	457		300																																																																												
	達成率	120.7%	152.3%		300																																																																												
	目標				H 年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																												
成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50	50	H34年度																																																																												
	実績	57	57		50																																																																												
	達成率	114.0%	114.0%		50																																																																												
進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	H34年度																																																																												
	実績	1,041	1,334		3,000																																																																												
	達成率	34.7%	44.5%		3,000																																																																												

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	企業立地促進制度の実施		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成14年度		立地交付金等の企業立地を促進するための施策を実施することにより、本市への産業を集積し、雇用機会の創出、事業機会の増大及び税源の涵養を図ることにより、本市経済活動の活力の維持及び豊かな市民生活の実現を目指して本制度を開始した。
根拠法令	福岡市企業立地促進条例及び同条例施行規則		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	6-2-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進			
事業群	企業や本社機能の立地促進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国内外の企業等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	本市への支社や本社等の拠点設置を推進し、定着させる。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	本市に新たに立地する企業に対し、立地交付金を適用することにより、企業の初期投資を軽減し、国内外企業の立地促進、市内既存事業所の転出防止を図った。 ○交付件数: 45件(H31.3末時点)

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計	1,750,724		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	1,750,724	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳出合計	3,155,779	6,029,207	
歳入	特定財源	1,056,276	4,418,187
	一般財源	2,099,503	1,611,020

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	・本市へ支社、本社等の拠点を設置する。	・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。			
	指標の内容	実績		目標			
	活動の指標		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		企業訪問・面談回数	目標	800	800	800	H34年度
実績			936	1,076	800		
達成率			117.0%	134.5%	800		
	目標			H年度			
	実績						
	達成率						

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標	
	成長分野・本社機能の進出企業数	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	50	50	50	H34年度
		実績	57	57		50
		達成率	114.0%	114.0%		50
進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	H34年度	
	実績	1,041	1,334		3,000	
	達成率	34.7%	44.5%		3,000	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	商工金融資金・金融対策、経営支援施策普及事業、金融事務費		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局中小企業振興部経営支援課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
	(現所管課)経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課		
開始年度	昭和24年	背景	中小企業は、大企業と比較すると、金融機関からの融資など新たな資金調達が困難である場合が多い。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	6-3-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化		
事業群	中小企業の振興		

施策成果指標
 全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合
 (2021年目標値: 1.50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	福岡市内で事業を営む中小企業者
	対象をどのような状態にしたいのか	長期・低利・固定金利の融資制度で金融機関からの資金調達を支援することにより、中小企業者の経営の安定化や事業の拡大等を図る。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	制度改正の実施 ・小口事業資金・創業支援資金の融資限度額を引上げ ・「福岡100」スタートアップ資金の創設 ・ステップアップ資金の対象を拡大 ・第二創業・多角化資金の融資期間を延長 ・経営安定化特別資金の継続実施
	十分な融資枠の確保:平成30年度融資枠2,032億円	経営支援施策普及事業の実施:市内事業所6,156件を訪問 相談窓口の運営:相談件数7,287件

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
	歳出合計	70,965,094	
歳入	特定財源	70,131,693	
	一般財源	833,401	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
	歳出合計	76,854,092	73,784,466
歳入	特定財源	75,946,161	72,899,524
	一般財源	907,931	884,942

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・融資制度の充実強化 ・十分な融資枠の確保 ・経営支援施策普及事業 ・相談窓口の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業者の資金調達の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金繰DIの改善継続 ・倒産件数減少の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の振興、経済の活性化 		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	-			H年度
実績		4,775	4,487	-	-	
達成率		-	-		-	
成果の指標(KPI)	目標	8,000	5,000	5,000	H年度	
	実績	9,732	6,156		-	
	達成率	121.7%	123.1%			
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	商店街の活性化(商店街インバウンド対策支援事業、地域との共生を目指す元気商店街事業、商店街活性化パートナー発掘事業)	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局中小企業振興部地域産業支援課 (新所管課)経済観光文化局総務・中小企業部地域産業支援課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 大型商業施設の進出や消費者の消費動向の変化により、商店街が魅力や活力を失い、商店街の地域経済や地域コミュニティを担う機能が衰え、地域が衰退しているため、商店街を再び魅力的で活力あふれるものとする。
開始年度	昭和43年	背景
根拠法令	中小小売商業振興法、中小企業振興条例	
行政計画	なし	

基本計画				
施策コード	主	6-3-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化			
事業群	商店街の活性化			全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合(2021年目標:1.50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 商店街組織
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 商店街組織が行う、経済活動やまちづくり活動への支援を行い、商店街の持つ「買い物の場」「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮し、活性化させる。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 地域の社会課題解決に向けた取組みを支援し、商店街への集客力の向上等を図るとともに、資金や人材が不足している商店街に対し、外部からのアイデアや、その事業実施を行うパートナーを発掘する支援を実施。 【重点事業】 地域との共生を目指す元気商店街応援事業(補助金):3団体 商店街活性化パートナー発掘事業(負担金):2団体
-----------------	---

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
	歳出合計	4,358	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	4,358	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
	歳出合計	6,143	12,149
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	6,143	12,149

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入整備の取組みに対する支援 ・地域の抱える社会課題の解決に取組み、商店街の集客力や売上の増加の効果がある取組みに対する支援 ・外部からの新しいアイデアの取込みや、活性化に取組むパートナーの発掘を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策を活用した商店街が、外国人観光客の消費の取込みや、地域の課題解決に取り組むとともに、外部からの新しいアイデアや、そのアイデアに基づく取組みを行うパートナーを発掘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街での消費やにぎわいなど、商店街が活性化され、商店街活動が活発になり、新規出店者の増加や、商店街組織への加入が促進される。 ・商店街が地域の課題解決に取り組むことにより、地域との連携が促進され、商店街が地域コミュニティの担い手としての役割が強化される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の担い手である地場中小企業の競争力が強化される。 		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
商店街インバウンド対策支援事業を活用した商店街数(累計)	目標	2	2	3	H32年度	
	実績	2	2		5	
	達成率	100.0%	100.0%			
地域との共生を目指す元気商店街事業を活用した商店街数(累計)	目標	5	6	12	H32年度	
	実績	6	9		8	
	達成率	120.0%	150.0%			
成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H34年度	最終年度
商店街の構成店舗数(1商店街当たりの平均店舗数)	目標	41.9			H34年度	
	実績	44.8			47.0	
	達成率	106.9%				
地域団体との共同事業に取り組む商店街数(地域型・近隣型に占める割合)	目標	45.9			H34年度	
	実績	41.1			50.0	
	達成率	89.5%				

※商店街実態調査による指標の把握による

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	正社員就職支援事業	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局中小企業振興部就労支援課 (現所管課)経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
各区市民相談窓口で実施されていた、国の事業である高齢者就職相談窓口の廃止に伴い、市民の求職活動の利便性維持のため事業を開始した。		

基本計画				
施策コード	主	6-5-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	就労支援の充実			
事業群	就労支援の取組み			
				市の施策による就労者数 (H34年度目標値: 1,400人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 就労相談窓口の一般相談を利用する正社員就職希望の求職者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 正社員就職

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①正社員希望者と求人企業とのマッチング強化 → 正社員就職支援員(仮称)を1人配置。(週2日) → 求職者の希望や適性等を踏まえて正社員求人を開拓し、求人企業の希望等のすり合わせを綿密に実施。 ②相談支援の充実 → 就労相談窓口(一般相談)を巡回する臨床心理士を1人配置。(週2日) → 各区の相談員とともに相談支援を行って、一般相談の支援の中で自信回復や不安解消など精神面のサポートを実施。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計	4,500	
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,500
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	4,500	4,500
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,500

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	・就労相談窓口を利用する求職者に対し、 → 正社員就職支援員による支援 → 訪問相談員(臨床心理士)による各区での支援を行う。	・正社員就職希望者が、自分に合った求人(会社)に出会い、応募する。	・正社員就職希望者が正社員就職する。	・市の施策による就労者数が増加する。		
	活動の指標	実績	目標	実績		
	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	正社員求人獲得数	目標	-	-	770	H年度
	実績	630	910	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	正社員就職率	目標	45.0	40.0	55.0	H年度
		実績	37.6	51.9	-	-
		達成率	83.6%	129.8%	-	-
		目標				H年度
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	スタートアップカフェの運営		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業・大学連携課 (新所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		スタートアップ都市づくりの拠点として、スタートアップカフェを開設し、スタートアップの裾野を拡大するための場の提供、及び様々な支援団体のネットワークハブ機能を提供。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	7-1-1		施策成果指標 相談対応件数
	再			
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり			
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	創業予定者、創業して間もない企業、個人
	対象をどのような状態にしたいのか	スタートアップの裾野を広げ、都市の成長を促進する。
事業目的		

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	スタートアップに関する情報提供・相談・交流機能や創業手続きに関する創業ワンストップ機能, 人材のマッチング・再チャレンジや雇用に関する相談などの人材確保支援機能を提供した。
	事業実施場所: Fukuoka Growth Next	福岡市中央区大名2丁目6番11号 (受託事業者: 株式会社九州TSUTAYA) ※H31.3.1からH31.5.29の間中は市役所1階で開設
	開設日: 平成26年10月11日	平成30年度実績(H31.3末時点)
		相談対応件数: 2,026件
		創業関連イベント開催数: 333回
		イベント参加者数: 述べ約7,600名

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計	64,581	
歳入	特定財源	
	一般財源	64,581
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	67,591	64,717
歳入	特定財源	0
	一般財源	67,591

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウト (どんな活動を行うのか)	②結果アウト (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	「スタートアップカフェ」を開設し、コーディネーターによる相談対応やネットワーク構築、各種創業関係イベントの実施	相談対応件数が増加する。	スタートアップカフェのネットワークを活用し、多くの創業者を輩出する。	・経済の新陳代謝により、都市の成長が促進される	
	指標の内容	実績		目標	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
		目標	1,600	1,700	H 年度
実績		2,003	2,026	1,800	
達成率		125.2%	119.2%	-	
	目標			H 年度	
	実績				
	達成率				

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	開業率向上	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	13.0	13.0	未定	H30年度
		実績	7.5	-		13.0
		達成率	57.7%	-		
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	スタートアップ支援施設運営事業	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業・大学連携課 (新所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業支援課	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か	平成24年のスタートアップ都市宣言や平成26年の国家戦略特区の指定を経て、創業の裾野を広げた福岡市では、ロールモデルという成功事例を生み出すために、起業家だけでなく、技術や資金、専門家、支援者、ネットワークなどが揃ったエコシステムを構築し化学反応を起こすような施設を運営するために平成29年4月に「Fukuoka Growth Next」を開設。	

基本計画		
施策コード	主 7-1-1 再	施策成果指標 なし
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している	
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 創業して間もない企業、個人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 地場企業との連携や資金調達の拡大などにより、スタートアップ企業が成長する。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 企業の更なる成長や既存中小企業の第二創業促進を図るために、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設を旧大名小学校に整備し、開設した。 開設日：平成29年4月12日 実績(平成31年1月末現在) ビジネスマッチング件数：33,580回(累計) 雇用増加者数：147人(累計) 投資件数及び投資額：31社82億円(累計)
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		73,430
歳入	特定財源	0
	一般財源	73,430
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳出合計	69,494	183,734
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	69,494 183,734

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 成長支援プログラムやセミナー・ピッチ等のイベントを定期的に実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 企業同士やVCとのビジネスマッチング件数が増加する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 販路拡大や投資拡大により、スタートアップ企業が成長する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡市から新たな価値やイノベーションが生まれ、雇用創出や地域経済が発展する。	
	指標の内容	実績	目標		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
		目標	5,000	-	-
		実績	14,058	19,522	14,000
達成率	281.2%	-	-	-	
目標	-	-	-	最終年度	
実績	-	-	-	H 年度	
達成率	-	-	-	-	

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	
	スタートアップ企業への総投資額(千円)	年度	H29年度	H30年度
		目標	500,000	-
		実績	4,500,000	3,700,000
		達成率	900.0%	-
目標	-	4,000,000	-	
実績	-	-	-	
達成率	-	-	-	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	福岡スタートアップ・サポーターズ協議会事業		
所管課	(旧)官課/経済観光文化局創業・立地推進部 創業・大学連携課 (新)所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業支援課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	国内のみならず、アジアや世界で活躍できるような起業家の発掘・育成を通して、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指し、もって地域経済の活性化を図ることを目的に平成24年11月30日に設立された。
開始年度	平成24年度	背景	
根拠法令	なし		
行政計画	政策推進プラン		

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	施策成果指標
	再	6-3-1	
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ①スタートアップ ②地場中小企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ①資金調達によってスケールアップする状態。 ②新たな事業展開や成長・発展が創出される状態。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①スタートアップ成長支援 ・スタートアップ15社に対し、個別メンタリング、資本政策に関する勉強会、ベンチャーキャピタルとのマッチングの機会を提供。 ②フクオカ・スタートアップ・セレクション ・「フクオカ・スタートアップ・セレクション」を平成30年11月29日、30日に開催。 ・ビジネスセミナー、スタートアップによるピッチ、マッチング事例紹介セミナー等々様々なコンテンツを通して、ビジネスマッチングを促進。
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	6,814
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,814
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	16,047 10,428
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	16,047 10,428

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ①有望なスタートアップの情報収集・集約。有望なスタートアップに対して、VCとのマッチング機会の提供。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングイベントを開催する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ①有望なスタートアップとVCとのマッチングがすすむ。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングがすすむ。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ①資金調達によってスケールアップする(スケールアップする成功モデルが創出される)。 ②地場中小企業の新たな事業展開や成長・発展が創出される。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ①有望な市内スタートアップとVCが積極的にマッチングする環境が形成され、起業→資金調達→成長→更なる起業といった、スタートアップエコシステムが構築される。 ②地場中小企業の競争力・経営基盤の強化が図られる。		
	指標の内容	実績	目標			
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	10	10	10	H年度
		実績	10	15		-
達成率		100.0%	150.0%	-		
スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングイベントに参加する企業数	目標	320	600	1,000	H年度	
	実績	617	1,363		-	
	達成率	192.8%	227.2%		-	

成果の指標(KPI)	指標の内容		実績	目標		
	ベンチャーキャピタルからの投資件数	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	1	1	1	H年度
		実績	4	0		-
		達成率	400.0%	0.0%	-	
スタートアップ企業と既存企業のマッチング件数	目標	50	50	50	H年度	
	実績	290	135		-	
	達成率	580.0%	270.0%		-	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	外国人創業活動促進事業	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業・大学連携課 (新所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業支援課	背景
開始年度	平成27年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 《特区制度 H27.12～》 国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人 が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に 関する規制緩和について、法令関係が改正され 施行された。 《経済産業省制度 H31.1～》 外国人起業家が在留資格「特定活動」を活用し、 起業準備活動を行うための制度がH30.12から開 始され、福岡市はH31.1に経済産業省から全国で 初めて実施団体に認定された。

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		施策 成果 指標
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		
申請件数			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市で起業を志す外国人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 海外から人材の集積や投資の促進を図るとともに、外国人 起業家のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が 増えることで、「グローバル創業都市・福岡」の実現と新た な雇用を生み出していく。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○外国人への広報 外国人へ本事業を周知する。 ○事業計画の確認、活動確認証明書の交付 ・外国人の事業計画が上陸後の一定期間内に要件を満たす見込みがあ るのかなどについて、中小企業診断士に診断を依頼し、市が確認を行う ・見込みのある外国人に対して、市が活動確認証明書を交付する ○事業計画の進捗確認 ・上陸後の一定期間中、事業計画の進捗を確認し、状況に応じてコンシ ルジュ等が支援を行う。 ・進捗が良好でない場合は、本国に帰国を促す ○スタートアップカフェ(主にグローバル・スタートアップ・センター)を中心 に、外国人の起業相談の受付や支援を実施 ・コンシェルジュが事業化の相談を受け、必要に応じてネットワークにつな ぐ
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	2,337
歳入	特定財源	6
	一般財源	2,331
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	1,578 5,337
歳入	特定財源	4 6
	一般財源	1,574 5,331

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	外国人へ事業の周知を行う。 外国人の事業計画を確認する。	本事業を利用して在留資格を取得しようと する外国人起業家が増える。	市内で起業する外国人が増える。	外国人起業家のビジネスを通じてグロー バルに展開をする企業が増えることで、海外 から人材が集積し、投資や雇用が促進され る。	
	指標の内容	実績		目標	
	活動の指標	年度 目標	H29年度	H30年度	H31年度
	申請件数	20	20	20	H年度
	実績	18	18	-	-
	達成率	90.0%	90.0%	-	-
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
		年度 目標	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	開業率向上	13.0	13.0	未定	13.0	H30年度
	実績	7.5	-	-	-	-
	達成率	57.7%	-	-	-	
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	外国人創業環境形成事業		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業・大学連携課 (新所管課)経済観光文化局創業・立地推進部 創業支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正、施行され、制度活用を推進するなかで、市独自の支援メニューを充実し、外国人創業者の環境形成を図る具体的な事業展開が必要であった。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 優れたビジネスプランを持つ外国人創業者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 外国籍の方が創業しやすい環境を整備するため、住居および事業所の賃料補助を実施することで、事業展開に集中し、福岡市から新たな価値や地域の雇用を生む事業者へ成長できる環境を提供したい。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○補助金の募集活動 外国人創業者へ事業周知を行うため、英語版の募集案内・チラシを配架した。 ○認定事業の採択・補助金の交付 平成29年度および平成30年度の各年度ごとに事業認定を行った事業者に対し、住居および事業所の賃料の一定額に相当する額を補助金として支援した。 採択件数: 平成29年度 4件 平成30年度 3件 ○認定事業者へのフォロー 定期的な訪問を通じて、事業の実施状況の確認や適宜スタートアップイベント等の紹介した。 ○海外でのPR スタートアップビザと合わせて、パッケージとして海外でのイベント等で紹介した。
-----------------	--

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		3,340
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,340
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	4,270	4,753
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,270

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ○優れたビジネスプランをもつ外国人創業者へ、家賃と事業所の賃料に対し補助を実施するための認定事業者の募集を行う。 ○特区版スタートアップビザおよび新しいスタートアップビザとのパッケージとして海外でのスタートアップイベント等でPRを行う。 ○外国人創業者および外国人創業予定者に対して、個別に制度説明を行う。	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ○外国人創業者の本事業への関心が集まり、募集期間前～募集期間中に問い合わせが来る。 ○スタートアップビザを活用した外国人創業者の募集件数が増える。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) ○事業認定を受けた外国人創業者は、スタートアップが成長していくうえで重要な時期に福岡市から経済的な支援を受けることで、事業に集中することが出来る。 ○福岡市内での外国人創業者の集積が進む。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) ○グローバルな視点をもつ外国人創業者が福岡市に集積することで、新たな価値だけでなく、地域の雇用も創出されるようになる。 ○外国人創業者だけでなく、チャレンジマインドをもった起業家の集約が進み、グローバル創業都市・福岡が実現する。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		
	指標の内容	指標の内容		
	年度	年度	実績	目標
	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度
H30年度	H30年度	H30年度	H30年度	
H31年度	H31年度	H31年度	H31年度	
最終年度	最終年度	最終年度	最終年度	
H31年度	H31年度	H31年度	H31年度	
H 年度	H 年度	H 年度	H 年度	
H 年度	H 年度	H 年度	H 年度	

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		本市には、都市規模を上回るクリエイティブ関連産業の集積があり、今後も本市の成長エンジンとして地域経済を牽引していくことが期待される中、これらの関連産業について、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン等業種に応じた産業振興が必要となるため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	7-3-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	クリエイティブ関連産業の振興			クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値: 2,900事業所)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン) ・個人のクリエイター ・クリエイティブ関連分野を専攻している学生
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、個人クリエイターの販路が拡大、収益増加している。 ・クリエイティブ関連企業への就職希望者が就労できている。

実施内容(手段)	平成30年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○ゲーム ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。
	○映像 映像分野では、NPO法人映像コンテンツ研究会などと連携をし、国内外の展示会参加やビジネスマッチングを実施して、映像コンテンツの販売支援やネットワーク構築を図った。
	○ファッション ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。
	○音楽 音楽分野では、福岡ミュージックマンスに参画し、音楽都市としてのブランディングを図るとともに、一層の集客や関連産業の振興を図った。
	○デザイン デザイン産業分野では、NPO法人福岡デザインリーグや九州アートディレクターズクラブなどのデザイン関連団体等と連携してデザイン関連産業の振興を図った。

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		21,680
歳入	特定財源	620
	一般財源	21,060
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H29	H31
歳出合計	28,549	19,866
歳入	特定財源	111
	一般財源	28,438

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人材育成事業(インターンシップ, コンテスト, セミナー等) 2. 販路拡大事業(展示商談会出展支援等) 3. イベントの開催(ゲームイベント, FACo等) 4. 情報発信事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労希望者が地場企業の必要としているスキルが身に着く。 ・地場企業が国内外のバイヤーと商談できる。 ・イベント等でのクリエイターの発表の場ができる。 ・国内外での事業認知度が上がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保における企業と就労希望者とのミスマッチングが少なくなる。 ・地場企業が販路拡大・収益増加。 ・情報発信により福岡ブランドが定着する。 	<p>本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。</p>	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度
インターンシップ開催回数	目標	3	2	2	H32年度
	実績	3	2		2,300
	達成率	100.0%	100.0%	2,300	2,300
	目標			H年度	
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	アジアフォーカス・福岡国際映画祭		
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成3年度		平成元年のよかとぴあ開催、福岡アジア文化賞創設などの”アジア太平洋都市宣言”の旗印のもと行われた一連のアジア施策の一環として、映画を通じて行う文化交流として映画祭が始まった。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	7-3-1		施策成果指標 クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値:2,900事業所)
	再	1-4-2	5-1-2	
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	クリエイティブ関連産業の振興			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	①市民、観客 ②映像産業関連企業、クリエイター
	対象をどのような状態にしたいのか	①映画を通じてアジアに対する理解と文化交流を促進する。大勢の観客で賑わう。 ②福岡から優れたアジア映画を世界に発信し、新しい才能を発見、育成する。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	チャンネルシティ博多を会場に、質の高いアジア映画の上映に加え、監督や出演者等、招聘ゲストを招いたQ&Aやシンポジウム等を実施した。
		○人材育成事業 福岡で活動する若手映画監督やクリエイターの作品を上映するプログラムを実施した。 ○商談会「ネオ・シネマップ福岡」 アジア各国からバイヤー・セラーが来場し、完成した映像作品の売買取扱だけでなく、これから撮影をする映像作品の企画ピッチの場を設けた。 ○関連企画 民間主体で実施されている映画・映像イベントと連携し、双方の広報協力を行うなど、映画祭の盛り上げを図った。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計		41,431	
歳入	特定財源	515	
	一般財源	40,916	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳出合計	48,511	37,779	
歳入	特定財源	467	515
	一般財源	48,044	37,264

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・映画祭を企画・運営する(作品、ゲスト、シンポジウム、イベント等) ・ポスター、リーフレットの制作やHP、Facebookなどでの情報発信、記者リリースなどより映画祭の周知を図る ・クリエイティブ関連産業事業を企画・運営する	・作品とゲストを招待し、ゲストとの交流事業を実施する ・人材育成事業、商談会を実施し、企画・運営する ・クリエイティブ関連イベントを実施する	・国内外の映画・映像関係者が交流する ・商談成立し、様々な作品が日本で流通する ・日本(福岡)での撮影作品が決定する ・観客数が増える(映画祭に親しみを感じる、誇りに思う市民が増える。) ・新聞や雑誌、テレビなどでのニュースパブリシティが増える	・まちの賑わい創出、ビジネスマッチング、人材育成など新しい機能を組み込み、「クリエイティブ・エンターテインメント都市」づくりに貢献する ・クリエイティブ関連産業の事業所数が増加する		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	60	90	80	H年度
実績		91	79	-		
達成率		151.7%	87.8%			
年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度		
成果の指標(KPI)	目標	250	250	250	H年度	
	実績	222	338		-	
	達成率	88.8%	135.2%			
	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業		
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		市内のクリエイティブ関連企業からは、分野を超えた交流の場やイベント等を通じた情報発信、スタートアップ支援のニーズが高い。クリエイティブ・エンターテインメント分野は、福岡市の強みを活かせる分野であり、時代を担う産業分野として積極的に振興を図る。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	7-3-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	エンターテインメント都市づくり			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン) ・個人のクリエイター ・クリエイティブ関連分野を専攻している学生
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種の枠を超え、企業、クリエイターが活発に交流している。 ・またその交流から、新たなビジネス機会、価値が生まれている。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○アジアンパーティの開催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭、福岡アジア文化賞、クリエイティブフェスタの主要事業に加え、アジアとクリエイティブをテーマとした民間企業・団体等の各種事業と連携を図り、「アジアンパーティ」として9月～10月に集中開催。
	○クリエイティブ福岡推進協議会の運営 異業種交流を目的としたセミナー・交流会、ホームページ・SNS等を活用した情報発信事業等を実施。
	○クリエイティブフェスタの開催(9月) 国内外に広くPRする広告塔的イベントとして、「The Creators」を開催。2日間で延べ87,000名を集客した。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計		82,134	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	82,134	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳入	歳出合計	83,558	76,480
	特定財源	0	0
	一般財源	83,558	76,480

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○アジアンパーティの開催 ○クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の事業実施 ・セミナー・交流会等の開催 ・情報発信事業(ホームページ等の運営) ・クリエイティブフェスタの開催	・イベント等でクリエイターの発表の場を提供する。 ・イベント等で市民の方々がクリエイティブ関連分野の最新技術に触れる機会を提供する。 ・企業、クリエイターとの情報交換やネットワーク構築の場を提供する。 ・情報発信を通じて事業の認知度が向上、事業の参加者が増加する。	・企業、クリエイターにおいて異業種間も含めた交流が活発化する。 ・アジアンパーティの時期に国内外のクリエイターが福岡に集まる。	本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。イベント等を通じた国内・海外への情報発信を通して「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」のブランディングができています。		
	指標の内容	実績	目標			
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	5	5	5	H32年度
実績		5	6	5	5	
達成率		100.0%	120.0%	5	5	
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
	アジアンパーティの参加者数	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	465,000	465,000	465,000	H32年度
		実績	570,095	442,000	465,000	465,000
		達成率	122.6%	95.1%	465,000	465,000
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	アジアビジネス促進・支援事業		
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部国際経済課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	H21		大企業と異なり、国際ビジネスについて独自の展開や情報の取得が困難な地場中小企業の海外展開を支援するため
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	8-3-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	国際的なビジネス交流の促進		
事業群	国際ビジネスの振興		博多港・福岡空港における貿易額

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地場中小企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・成長著しいアジアへの販路拡大や外国企業との連携強化。 ・福岡フードビジネス協議会を通じて、福岡・九州の地場食品製造企業がまとまって輸出拡大を進め、福岡・九州の食の海外でのブランド化を図る。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡アジアビジネス支援委員会(福岡市、福岡商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)の活動を通して、下記事業を実施(共催事業含む) <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催: 13回 ・展示会・物産展参加支援: 2回 ・商談会開催: 7回 ○福岡フードビジネス協議会(下記事業を実施) <ul style="list-style-type: none"> ・展示会・物産展参加支援: 6回 ・商談会開催: 2回 ○ギフトショー/ビューティーショーを活用した商談会 <ul style="list-style-type: none"> ・招聘企業: 13社 ・参加企業: 23社

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計		9,966
歳入	特定財源	2,500
	一般財源	7,466
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳出合計	10,551	10,312
歳入	特定財源	2,500 2,500
	一般財源	8,051 7,812

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・バイヤーの招聘。 ・展示会(国内・海外)への参加。 ・海外ビジネスに関するセミナー開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外からのバイヤーを招聘し、地場企業との商談を行う。 ・地場企業がセミナー・展示会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡・九州の企業の海外との取引額が増える。 ・福岡市の貿易額(博多港・福岡空港)が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売・小売・物流など市内産業の活性化。 ・人・モノ・情報が集積する福岡のショーケース機能の強化。 ・福岡・九州の食の海外での認知度が高まる。 		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	730	780	820	H年度
実績		803	816	-		
達成率		110.0%	104.6%	-		
目標	300	300	300	H年度		
実績	680	820		-		
達成率	226.7%	273.3%		-		

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	博多港・福岡空港における貿易額【億円】	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	36,700.0	37,350.0	38,000.0	H年度
		実績	44,503.0	46,795.0		-
		達成率	121.3%	125.3%		-
目標				H年度		
実績				-		
達成率				-		